

株式会社スクリブル・デザイン



代表取締役
佐々木 誠 氏

◆企業の概要

企業名：株式会社スクリブル・デザイン
代表者：代表取締役 佐々木 誠
住所：仙台市泉区市名坂字黒木川原19-2
設立年：平成14年
業種：電子通信機器設計・製造
資本金：32百万円
従業員数：22名

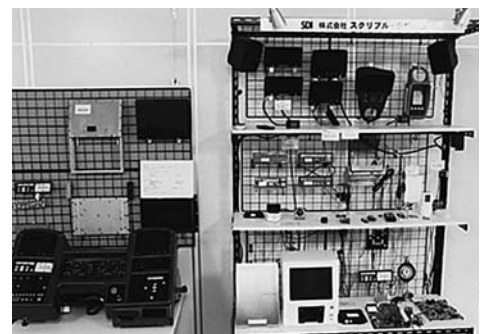
◆事業の概要

平成14年設立。液晶モニター、CCDカメラ、電子通信機器、AV機器等の開発および製造を行い、特に建設機械用の電子通信機器を主力業務とする。従来は受託開発中心であったが、開発設計から製造までの一貫体制を構築することで、顧客のニーズに的確に対応する企業に成長し、廉価で高品質の当社独自の鳥瞰モニタシステム^(※)の開発に取り組む。

※鳥瞰モニタシステムとは、前後左右に設置したカメラから取り込んだ画像をつなぎあわせ、上から見たような画像に変換してモニターに映し出すシステム。



本社工屋



開発商品

廉価で高品質の鳥瞰モニタシステムの開発に取り組む 電子通信機器設計・製造業、日本をはじめ建設需要の 旺盛な BRICs、東南アジア等での普及を大きく期待



作業風景



高感度カメラ

◆受賞の理由

ショベルカー等の建設機械に使用されている鳥瞰モニタシステムは、主に乗用車等に搭載されているものと同水準であり、圧縮比の高い水平180度カメラを使用しているため画素数が不足し、ゆがむ等の実際の像とは違う映像を映し出す可能性があるといった弱点をもつ。この弱点を克服するためには、高解像度のカメラまたは湾曲の少ないカスタムレンズを使用する必要があるが、開発費およびランニングコストが高額になることから、建設機械市場では浸透していないのが現状である。そのため、建設機械を使用する際はオペレーターの経験と勘に頼ることになり、死角が多く、凹凸のある建設機械の事故が後を絶たない状況である。

当社は、この大きな弱点である映像のゆがみの克服を低コストで実現するため、建設機械に特化した当社独自の鳥瞰モニタシステムの開発を計画し、平成24年秋の製品化を目指している。

この鳥瞰モニタシステムは、当社既存製品である圧縮比の低い水平127度カメラを6～8個使用することで、弱点であった映像のゆがみをカバーでき、また当社の保有する設計技術力と当社製品を組み合わせることで開発するシステムであるため、開発費およびランニングコストの低減が図られている。安全性が向上し低コストであることから普及が期待され、評価が高い。

国内において東日本大震災による復興需要から建設機械需要は増加する可能性があり、また、建設需要の旺盛な中国等のBRICs、東南アジアを中心とした新興国・発展途上国において建設機械需要は増加傾向にあることから、今後、国内のみならず海外も視野に事業展開することが十分期待され、この分野での更なる飛躍が期待できる企業である。